

科目名(副題)	開講年次(セメスター)	単位	担当者名
インターネットを思索する 人文社会科学の観点からインターネットについて考える	2～4年次秋学期 (4・6・8セメスター)	2	松浦 明宏
科目ナンバリング			
Z1-PHE-201-J			
授業概要・目的			
<p>私たちが現代という時代を生きていく上で、パソコンやスマートフォンが必要不可欠なコミュニケーション・ツールとなっていることは否定できません。これらのツールについては、技術的な意味での使い方を学ぶことももちろん大切ですが、それと同時に、それらを使うことによってどのような倫理的・精神的・社会的問題が生じているのかを知ることが重要です。その知識に基づいて、はじめてそれらのツールとのつきあい方を自分自身で適切に考えることができるようになるからです。</p> <p>そこで、この授業では、そのための基礎となる様々な問題・事例・思想的背景を学び、授業参加者との相互的な情報共有を行いながら、インターネット社会をどのように生きていくべきなのかを、より深く理解することを目指します。</p>			
学修到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットを通じてのコミュニケーションについて、人文科学の培ってきた歴史的成果や現代の学際的な方法を学ぶことで、人間の心の本質について深い知見を得ることができる。</li> <li>インターネットを通じてのコミュニケーションについて、討論を行ったりレスポンスペーパーを書いたりすることによって、論理的な思考力と表現力を身につける。</li> </ul>			
授業方法			
<p>【面接授業】 オンライン（オンデマンド）授業：7回 対面授業：8回（毎回グループディスカッションとディベート（1回以上のディベート参加が望ましい）。詳細は「履修者へのコメント」参照。） 第1回は対面授業を行います。その後は偶数回に対面授業、奇数回にオンデマンド型オンライン授業を行います。アクティブラーニングとして効果がより高いとされる反転授業（反転学習）を行うため、各トピックについて事前学修の後、まず各偶数回授業でそのトピックについて学生さんを中心とした討論を行い、次の奇数回授業でそのトピックについて教員がオンデマンド講義を行います。毎回冒頭で前回授業のレスポンスペーパーへのコメントを行います。</p>			
活用される授業方法			
スライド（パワーポイント等）の使用、 板書・スライド以外の視聴覚教材の使用、 ディスカッション・ディベート			
成績評価方法・基準			
レスポンスペーパー（50%） 討論への参加姿勢（50%）			
教科書・教材・参考文献 等			
<p>【教科書・教材】 教科書は使用しません。動画資料、pdf資料等の各種教材をMaNaBoを通じて配信します。</p> <p>【参考文献】 小此木啓吾『「ケータイ・ネット人間」の精神分析』（朝日文庫） 榎本博明『病的に自分が好きな人』（幻冬舎新書）</p>			
質問への対応(オフィスアワー等)			
レスポンス・ペーパー、討論の際の質問の他、電子メール（Manaboを通じて教員宛メールを送ってください）により対応します。オフィスアワー（金曜5限 場所は事前にメールで相談して決めます）を利用して質問していただいても構いませんが、その場合は、電子メールで予約してください。			
履修者へのコメント			
<p>この授業ではレスポンスペーパーの提出により出席とします。討論回は教室での自筆記名により討論参加確認を行い、討論参加を前提としてレスポンスペーパーの提出を受け付けます。また、レスポンスペーパーの期限後提出を減点のうえ受け付けます（定期試験期間終了日まで）。</p> <p>原則として、グループディスカッションの後、グループの代表が教室の前に出てディベートを行います。基本的に座席指定はせず、資料は電子媒体で配布します。</p> <p>第三者によって発行された欠席届相当（医療機関受診時の領収書等）により、合理的な欠席理由があると認められる場合、授業末に課される課題と同等の課題へのレスポンスペーパーを提出していただきます。</p>			

## 事前事後学習

### 事前学修

それぞれの回の授業内容を、講義資料として授業前日までにmanaboにアップロードしておきますので、各自、ダウンロードして次回の講義内容の概要を予習しておいてください。おおむね1時間程度かけて行うとよいでしょう。

### 事後学修

それぞれの回の授業についての意見・感想・要約等を、レスポンスペーパーとして書き、その回の授業の事後学修としてください。おおむね1時間くらいかけて行うとよいでしょう。

科目名(副題)		開講年次(セメスター)	単位	担当者名
インターネットを思索する 人文社会科学の観点からインターネットについて考える		2～4年次秋学期 (4・6・8セメスター)	2	松浦 明宏
授業計画				
No.	項目	内容		
1	イントロダクション	導入：テレビとインターネット（動画視聴）[対面型授業]		
2	メディアと印象操作（１）討論	グループディスカッションとディベート（メディアによる印象操作・洗脳）[対面型授業]		
3	メディアと印象操作（２）講義	GHQによる洗脳 [オンデマンド型授業]		
4	SNSと炎上（１）討論	グループディスカッションとディベート（不適切投稿等）[対面型授業]		
5	SNSと炎上（２）講義	サイバーカスケード、エコーチェンバー、フィルターバブル[オンデマンド型授業]		
6	ゲームの功罪（１）討論	グループディスカッションとディベート（ゲームの功罪）[対面型授業]		
7	ゲームの功罪（２）講義	ゲーム依存と薬物依存 -やはり脳が壊れていた- [オンデマンド型授業]		
8	ひきこもり（１）動画視聴と討論	グループディスカッションとディベート（ひきこもり）[対面型授業]		
9	ひきこもり（２）講義	内的ひきこもりと外的ひきこもり -やまあらしのジレンマ- [オンデマンド型授業]		
10	他人は風景（１）討論	グループディスカッションとディベート（「電車の中でドライヤーを使って髪をセットする人」等）[対面型授業]		
11	他人は風景（２）講義	「他人は風景」、島宇宙化、対人知覚障害 [オンデマンド型授業]		
12	オタク的感性（１）動画視聴と討論	グループディスカッションとディベート（「オタク道」についての動画視聴後、討論）[対面型授業]		
13	オタク的感性（２）講義	「おたく（オタク）」通史、オタクの定義 [オンデマンド型授業]		
14	シミュラクルとAI（１）討論	グループディスカッションとディベート（ボーカロイド、Vtuber、AI）[対面型授業]		
15	シミュラクルとAI（２）講義、全体の総括	シミュラクルとAI、総括 [オンデマンド型授業]		